

「いつも歯と歯が触れていませんか」

—100歳まで自分の歯を使うためには—

11月11日 [日] 10:00~12:00

保険医協同組合会館5F M&Dホール

入場無料



小澤力理事長が参加呼びかけ

大阪府歯科保険医協会 敬
 発行人 志岐 大
 大阪府浪速区幸町1-2-33
 電話(06)6568-7731(代表)
 http://osk-net.org/
 ●定価・年間10,000円 月1,000円
 ●1977年5月23日第三種郵便物認可

10/5

2018年第1311号
 (毎月5、15、25日発行)

予防を進めるためには、私たち歯科医療従事者も含めた国民の行動変容が必要になります。これまで日本では、8020運動をはじめとする啓蒙活動や、健康増進にかかる条例や法律、企業のクーポン交付などの経済



サマーセミナー2018
予防歯科政策の課題 (下)
 東京医科歯科大学大学院助教
安達奈穂子

的インセンティブを用いた推進施策などによって公的介入を進めてきました。これらは一定の成果をあげてきたものの、その効果に濃淡があることも事実です。そこで注目されているのがNudgeです。Nudgeとは、行動経済学的手法で人を無意識に特定の行動へと導く働きかけを指

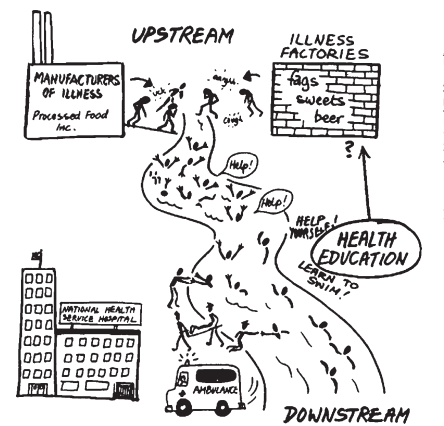
予防行動促す制度を

療制度は、キャピテーションモデル(一人当たりの年間医療費を固定する包括支払い制度)を採用しています。同制度では、患者をリスクアセスメントに基づき10段階に分け、その分類ごとに診

れによって患者の健康感が高まっています。また、患者は自らの疾病リスクを低減させることが自身の医療費負担の低下に繋がるため、自ら健康増進に努めるようになります。経済的報酬

健康の決定要因
 疾病の原因を追究していくとその背景には社会的な要因が見えてきます。健康は、年齢や性別、遺伝のような個人によるものだけでなく、住

が、患者の予防行動を促進するのです。予防行動の促進は患者を歯科医院へ向かわせ、歯科医院は患者の求めに応じて予防的ケアを優先することになります。スウェーデンでは、国民の予防行動促進に重点を置いた制度設計がなされています。



McKinlay JB. A case for refocusing upstream — the political economy of illness. Processing of the American Heart Association. Conference on applying behavioural sciences to cardiovascular risk; 1974.p.7-17.

協会直通番号のご案内
 保険請求のご相談や年金・休業保障制度のお問い合わせは直通番号をご利用ください。
 社保研究部 06-6568-7467
 共済部 06-6568-7438

今号に1冊同封



「保険でよい歯科医療を大阪連絡会」が昨年11月に開催した市民講座「健康長寿の鍵は『口』にあり」(岩佐康行氏・原土井病院歯科摂食栄養支援部長)の冊子が出来ました。市民講座の冊子は、待合室などで好評を得ています。1冊100円で追加注文を承っています。ご注文は協会事務局まで。



200人が参加した施設基準講習会の様子=9月15日、M&Dホール

協会は、「歯援診」および「か強診」の一部施設基準に係る研修会を9月15日に開催し、200人が参加した。講師は神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科教授の足立了平氏。

医科・歯科9条の会市民講座
「クローズアップ憲法」
 なぜ今国民投票が必要なのか?
 講師 植松健一氏 (立命館大学教授・憲法学者)
 映画同時上映
 コスタリカの奇跡 —平和国家のつくり方—
10月21日 (日) M&Dホール
 【当日スケジュール】
 開場 13:00
 映画上映 13:30~14:30
 講演会 14:45~16:30
参加費 無料

講師は、この分野の専門家であり、東京医科歯科大学非常勤講師を務められている木野顎関節研究所の木野孔司氏を招いてお話しいただきます。TCHは、顎関節症の最大の病因であることも肩こりなどの不定愁訴の原因にもなります。木野氏には、高齢になっても自分の歯を健康に保つため、歯周病の悪化防止にTCHのコントロールが大切であることや、その是正方法などを含めてお話しいただきます。

研修会では、施設基準に必要な「高齢者の心身の特性(認知症に関する内容を含む)」「高齢者の口腔機能管理」「緊急時の対応」「歯科疾患の重症化予防に資する継続管理に関する研修(口腔機能の管理を含む)」「高齢者の心身の特性および緊急時対応」を中心に話された。足立氏は、老化の4つの側面、老化指標に影響する6つの要因、認知症の特徴を解説。

摂食嚥下の理解と口腔機能低下症の考え方、診断機器等を説明した。リハビリテーションに関しては、乳幼児期からの食育の大切さにも触れた。研修会終了者には、「歯援診」「か強診」の一部施設基準届出に必要な修了証を発行した。(松原市・藤井佐都樹)

歯界
 北海道地震によるブラックアウトを聞き、改めて大規模停電対策の必要性を感じた。停電により、設備等が機能せず、命や暮らしが危機に陥る。
 発電所の設置は電気事業法に基づいて経済産業省が所管しているが、政府は危機管理面から電力会社の事業計画をチェックしていたのか。自然災害は止められない。だからこそ備えが重要ではないか。
 ベースロード電源として原発が必要との声もある。しかし、地震等の災害に原発が弱いのには福島で経験済みだった。それだけではない。事故による汚染物質の流出や廃炉費用なども含めて原子力発電は、極めて危険かつ高コストで、国民に過大な負担を負わせている。もんじゅの廃炉など、使用済み核燃料の処分も全く見通しが立たない。
 既に我々は、すべての原発が停止した期間を経験している。原発ゼロは可能である。季節は雷乃収声を過ぎた。そろそろ原発に固執する政策を見直す時期だ。(Y)